

国土交通省近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所
資 料 配 布

配布日時	平成18年 4月 5日 14時00分
------	-----------------------

件 名	京奈和自動車道橋本道路 (橋本IC～高野口IC)の開通について
-----	------------------------------------

概 要	一般国道24号京奈和自動車道「橋本道路」の橋本IC～高野口IC間(L=5.6km)が、平成18年4月27日(木)15時に開通します。 なお、開通に先立ち、平成18年4月27日(木)10時より、橋本ICにおいて開通式典を行います。
-----	---

取 り 扱 い	テレビ・ラジオ : _____ 新 聞 : _____
---------	--------------------------------

配 布 場 所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 和歌山県政記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ 橋本記者クラブ
同 時 配 布	_____

問い合わせ先	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 副 所 長 浜野 利彦 TEL073-424-2471 (内線205) 調査第二課長 中尾 勝 " (内線451)
--------	--

橋本道路（橋本 I C～高野口 I C間）が開通

国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所が事業を進めている京奈和自動車道橋本道路（橋本 I C～高野口 I C、L=5.6 km）が平成18年4月27日（木）15時に、暫定2車線で開通します。

残る区間についても早期開通を図ってまいります。

今回の開通によってさまざまな効果があります

- 今回の開通により交通の転換が図られ、国道24号の市脇交差点をはじめ国道24号の交通混雑の緩和や交通事故の減少が期待されます。
- 今回の開通により、国道24号の市脇交差点から大野交差点間の所要時間が短縮され橋本市域の移動時間がスムーズとなり、日常生活等の利便性が向上します。
- 並行する国道24号の交通量が減少することにより、二酸化炭素(CO₂)などの排出量が減少し、沿道環境の改善が期待されます。
- 新たな技術・工法の採用と建設発生土の有効利用により、コスト縮減を図っています。

開通式典

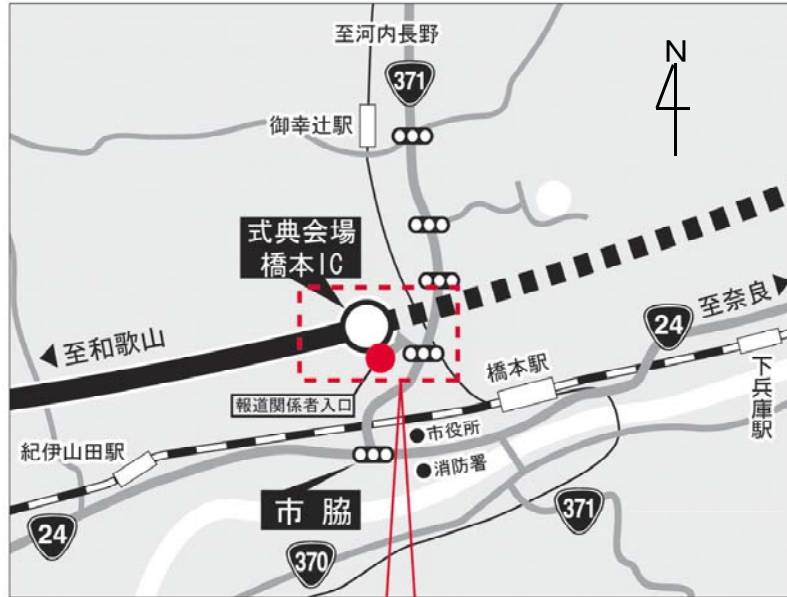
- ・開催日時：平成18年4月27日（木） 10時00分～
- ・主催：国土交通省 近畿地方整備局
- ・場所：橋本道路 橋本インターチェンジ（橋本市市脇地先）
- ・その他：式典に続き、「パレード（橋本 I C～高野口 I C）」を実施します。

開通イベント

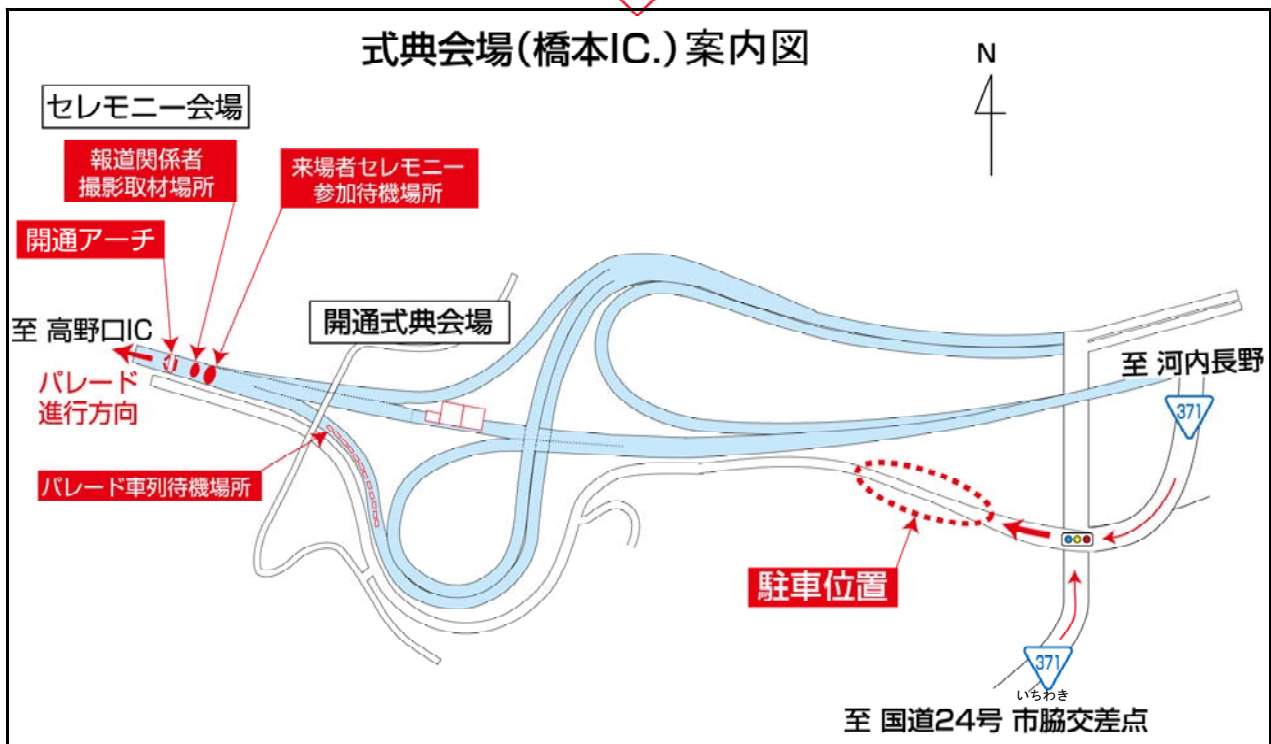
開通に先立ち、地元の橋本小学校の5年生を招待し、橋本インターチェンジ内の花壇の開園式とタイムカプセルの埋設式を行います。

- ・開催日時：平成18年4月23日（日） 11時～12時
- ・主催：近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所
- ・場所：橋本道路橋本インターチェンジ（橋本市市脇地先）
- ・内容：別添資料＜参考2＞のとおり

一般国道24号京奈和自動車道 「橋本道路」 開通式典



式典会場(橋本IC.)案内図



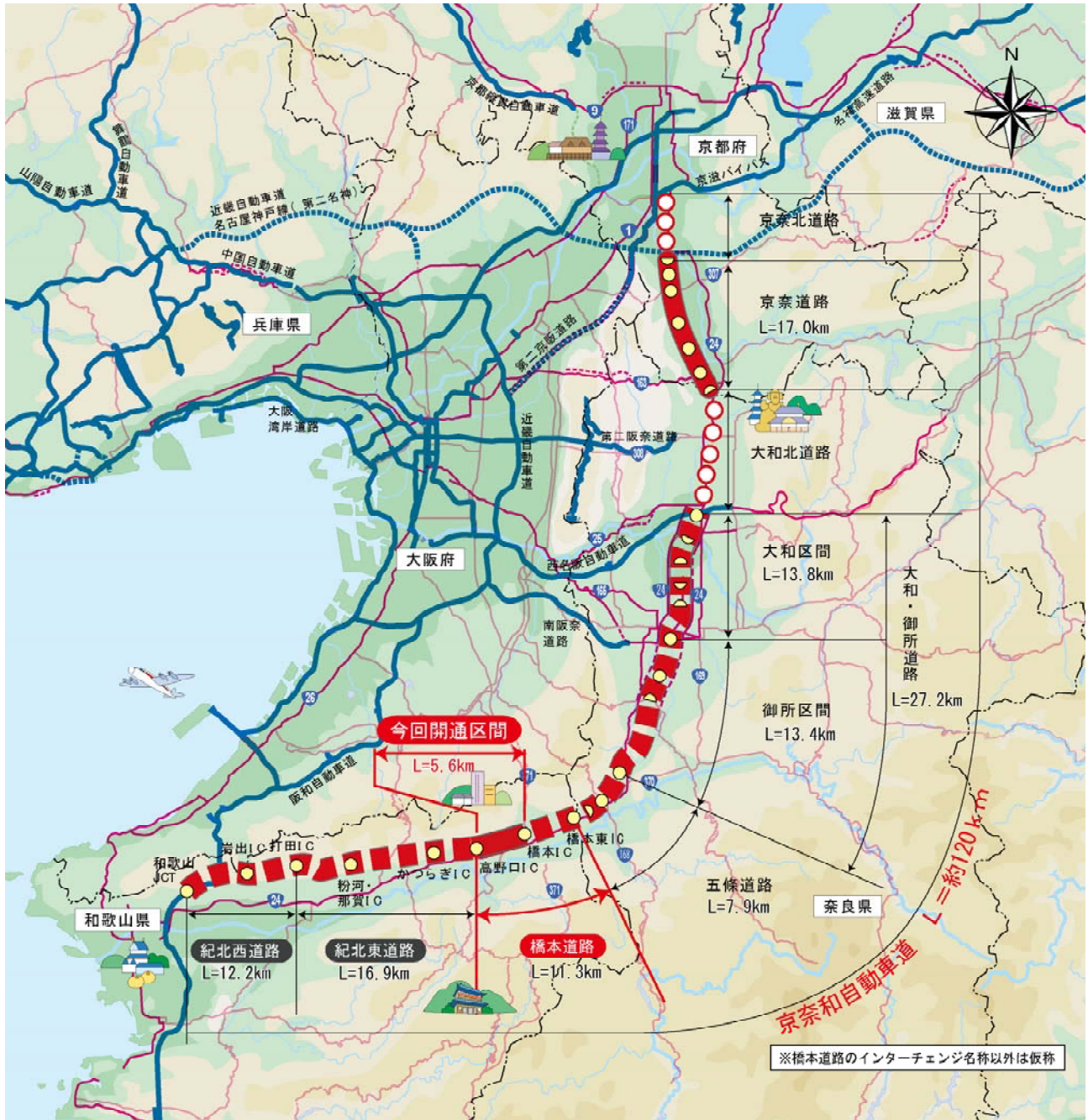
★報道機関の皆様へ

- ①取材にあたっては、各社腕章を着用願います。
- ②自動車でご来場の場合、国道24号から来られる方は、「市脇交差点」を北方向へ曲がってください。
大阪（河内長野）方面より来られる方は、国道371号を南へ下ってください。
(本ページの案内図を参照ください。)
- ③進入口、駐車位置には看板を設置し、係員がご案内致します。
報道機関である旨を係員へお伝えください。

【京奈和自動車道について】

京奈和自動車道は、延長約120kmの高規格幹線道路で、近畿圏の外郭環状道路として機能するとともに、京都～奈良～和歌山の拠点都市間の所要時間短縮を図り、地域連携を強化する役割を担う路線です。

位置図



凡例

	京奈和自動車道
	供用中
	事業中
	調査中
	高速自動車国道等
	一般国道

【橋本道路の計画概要】

橋本道路は、京奈和自動車道の一部を構成するとともに、一般国道24号の交通混雑緩和、交通安全の確保及び生活圏・活動圏の拡大による地域の活性化等を目的とした和歌山県橋本市^{すだちょう}隅田町から同市高野口町間の延長11.3kmの道路です。

その内、橋本ICから高野口IC間の5.6km（暫定2車線）について今回開通します。

・起終点

起点) 和歌山県橋本市隅田町^{はしもとしすだちょうまつち}真土

終点) 和歌山県橋本市高野口町^{はしもとしこうやぐちちやうおおの}大野

・計画延長 L=11.3km
(今回開通 5.6km)

・幅員 W=22.0m
(今回開通 12.0m)

・車線数 4車線（今回開通2車線）

◆事業の経緯

- ・平成元年度 事業化
- ・平成3年度 用地着手
- ・平成10年度 工事着手

詳細図



世界遺産への玄関口 ～和歌山県内初の京奈和自動車道の開通～

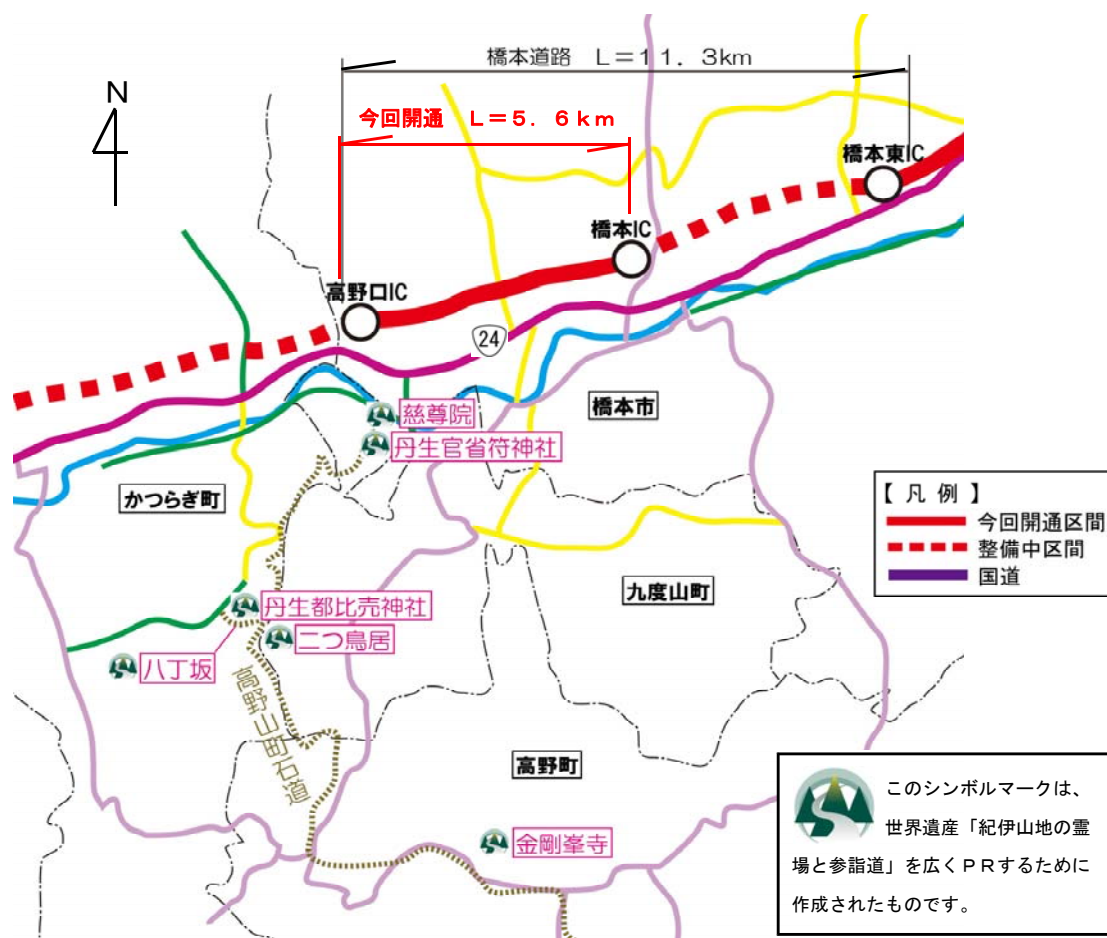


町石道



根本大塔

京奈和自動車道の一区間として、広域的な高規格幹線道路ネットワークの役割を果たすとともに、地域の発展に寄与し、暮らしを守る『命の道』、世界遺産をはじめとする豊富な観光資源を活かす道の実現に向けて、和歌山県内の京奈和自動車道の第1歩がスタートします。



今回の開通区間に引き続き、残る区間についても1日も早い開通に向けて整備を推進してまいります。

橋本道路の整備効果

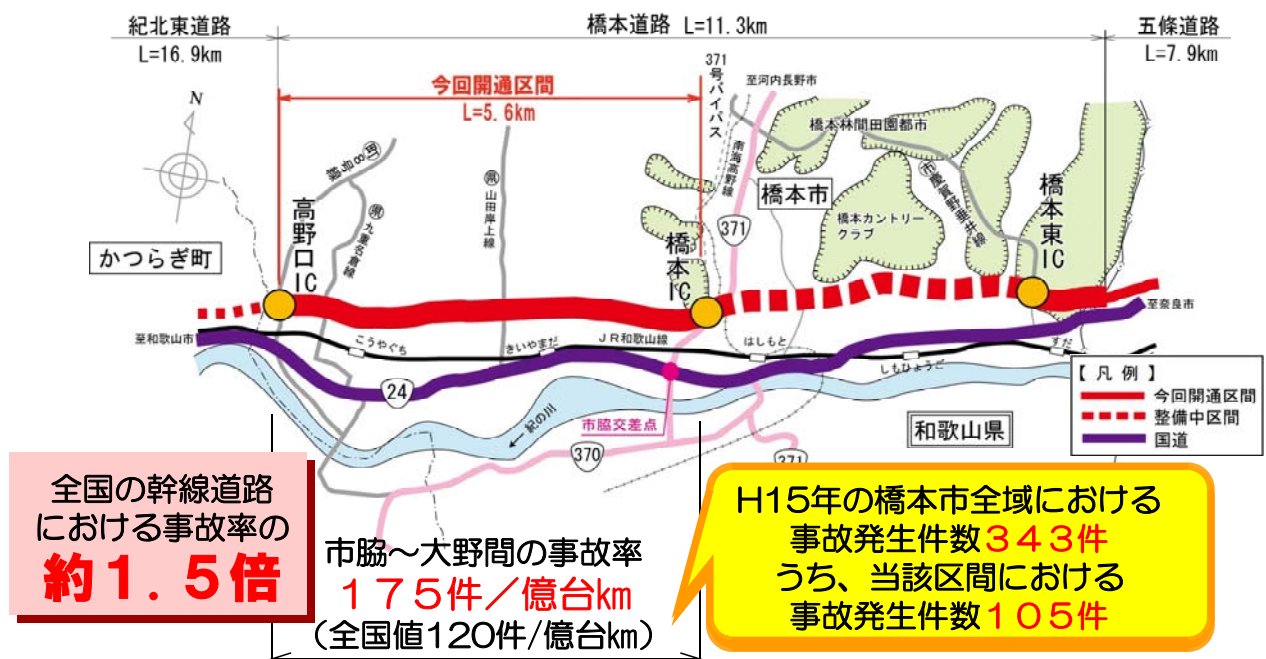
～国道24号の交通混雑の緩和～

今回開通する橋本道路橋本IC～高野口IC間と並行する国道24号において、最大1900mの渋滞が発生していますが、橋本道路の開通により交通の転換が図られ、国道24号の交通混雑の緩和が期待されます。



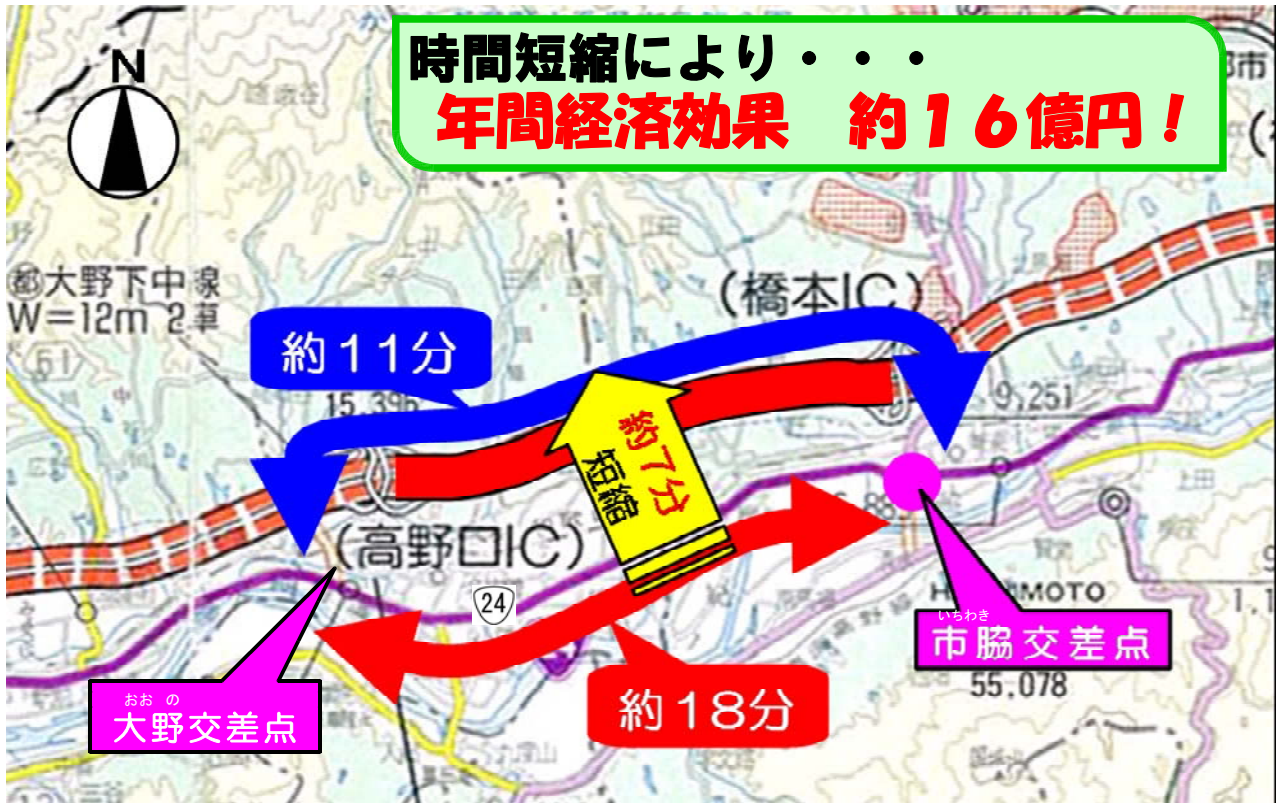
～国道24号の交通事故の減少～

今回開通する橋本道路橋本IC～高野口ICの供用により、並行する国道24号の交通事故の減少が期待されます。



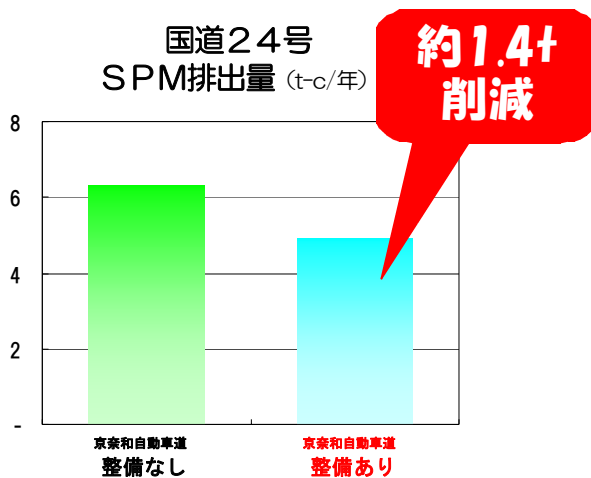
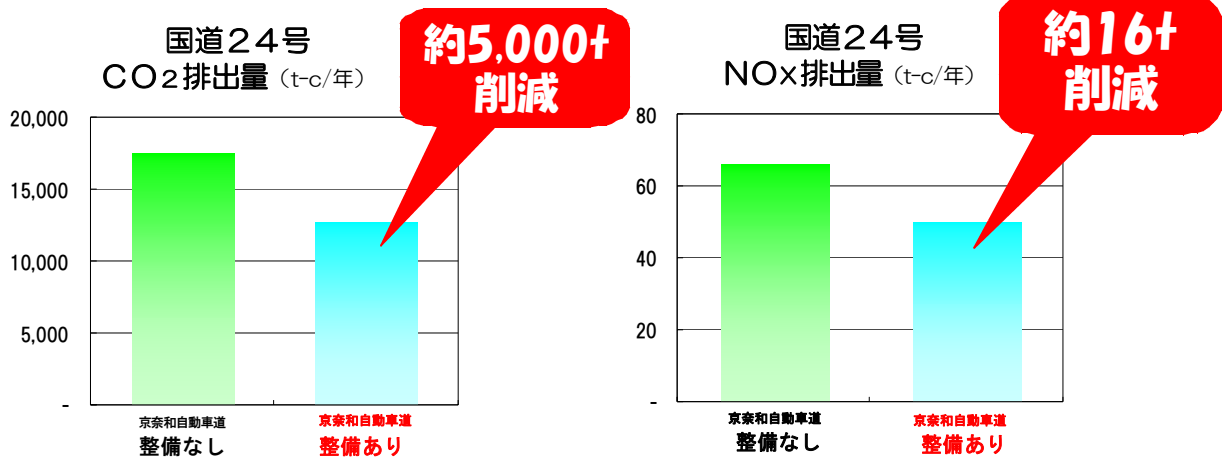
～所要時間の短縮～

橋本道路の開通により、橋本市域の移動時間が大幅に短縮され、地域交流の拡大、日常生活活動の利便性向上が期待されるとともに、紀北地域との結びつきの強化による地域の活性化など様々な効果が期待されます。所要時間の短縮による経済効果は年間約16億円と予想されます。



～沿道の生活環境の改善～ (二酸化炭素(CO₂)などの排出量が減少)

今回開通する橋本道路橋本IC～高野口ICに平行する国道24号において、CO₂、NO_x、SPMの排出量が開通前から約1/4減少し、沿道環境の改善が期待されます。



CO₂の年間削減量は、
森林の吸収量にすると
甲子園113個分の面積に相当

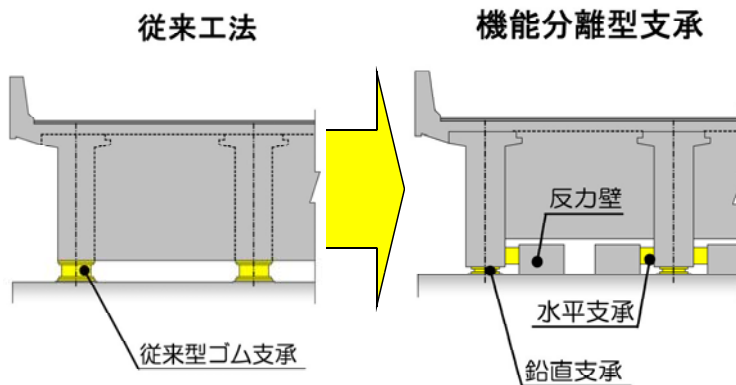
NO₂の年間削減量は、
車1台が地球を約90周走行した時の
排出量に相当

SPMの年間削減量は、
ペットボトル(500ml)に換算すると
約14,000本分に相当

一 工事におけるコスト縮減への取り組み 一

橋本道路では、新たな技術・工法の採用、現場内での施工の工夫や他の工事との連携などにより、コスト縮減を図っています。

機能分離型支承の採用



機能分離型支承の採用により
約7千万円のコスト縮減
(市脇高架橋、山田川高架橋、引の池橋)

建設発生土の有効利用

橋本道路の建設発生土を県営畑地帯総合整備事業(九度山町河根地区)造成地等で有効利用



他事業との連携により
約2億5千万円のコスト縮減

橋本道路開通プレイベントの概要

◆開催日時：平成18年4月23日（日） 11時～12時

◆場 所：橋本道路橋本インターチェンジ （橋本市市脇地先）

◆内 容：タイムカプセル埋設式と花壇の開園式

：事前に市内の小中学生及び高校生に、「10年後の自分に手紙を出そう!!」とのキャッチフレーズで用紙を配付。

：当日は、近隣の橋本小学校の5年生にタイムカプセル埋設と花壇の植栽のお手伝いを頂き、花壇の開園式を行います。

：タイムカプセルは10年後※に開封し、皆さんに郵送致します。
（※10年後は埋設のお手伝い頂く5年生が成人式を迎える年です。）

タイムカプセルの概要

大きさ：長さ約93cm
直径約45cm
（約140リットル）
重 さ：約51kg（カプセルのみ）
材 質：ステンレス製

タイムカプセルは橋本ICのランプのすぐ横の花壇一番高い地点に埋設し、モニュメントを設置します。

